

令和2年度 宗像市国土強靱化地域計画検討委員会 議事要旨

日 時：令和2年10月19日（月）14:15～15:30

場 所：宗像市役所3階 第2委員会

1. 出席者

委 員：日高、大重、山田、高宮、熊谷、篠原、宇都宮（代理）、國廣
事 務 局：宗像市防災企画課：的野、田中、靱山、内野
都市環境研究所：手島

2. 配布資料

- ・次第
- ・名簿
- ・策定スケジュール
- ・宗像市国土強靱化地域計画（案）
- ・宗像市国土強靱化地域計画検討委員会の役割について
- ・国土強靱化地域計画パンフレット
- ・委嘱状
- ・諮問書（写）
- ・事前配布資料正誤表

3. 議事

計画の位置づけについて

- ・地域防災計画との違いはなにか？（日高委員長）

地域防災計画は洪水や地震などの自然災害に対して起きた際にどのような対応を行うかに重点が置かれていることに対し、国土強靱化地域計画はあらゆる自然災害が発生した際の最悪の事態を想定し、その被害を最小限に抑えるために、いかに地域を災害に強くしていくかに重点を置いている。（市）

計画全体について

- ・文字サイズをもう少し大きくしてほしい。また、余白は少なくとも良い。ページが途中で変わってしまい読みづらい箇所があるので見やすさを重視してほしい。（篠原委員）

承知した。（市）

- ・「リテラシー」や「サプライチェーン」のように横文字の言葉が多いため、解説を付けたほうが良い。（篠原委員）

用語解説を付けたいと考えている。（市）

脆弱性の評価について

- ・要支援者や要介護者の避難についてはどのような取組を行っているのか。（大重副委員長）

名簿を作成のうえ、自主防災組織に配布している。また、地域によっては連絡体制などを構築している地域もある。（市）

名簿の取扱については改善が必要に感じている。現在は自治会長と民生委員のみが情報共有しているが地域全体で共有されているわけではない。個人情報の問題や隣組との関係の整理など問題もある。(高宮委員)

- ・下校ルートの確認は非常に重要である。対象は小学校だけか。(大重副委員長)
現在は市内の小中学校を対象として検討している。(市)
- ・脆弱性の評価の記述内容が対応を中心とした記述になっている。現状の問題点を示す内容を充実させても良いのではないか。(山田委員)
ご指摘を踏まえて、内容を修正する。また、後半の章には取組の具体的目標を示す指標の記述も検討している。(市)
- ・熊本地震など近年では災害関連死が問題になってきているが、災害関連死に関する記載がない。(山田委員)
他市町村の計画も参考にしながら対応したい。(市)
- ・宗像市では水害(赤間周辺の浸水)が一番の問題である。色々と網羅されているが改善のポイントがわかりづらくインパクトに欠ける。(熊谷委員)
ご指摘のように水害が一番の対応課題だと考えている。釣川の整備は県事業になるが、県の事業内容も含め可能な限り記述をしていきたい。(市)
- ・現状の取組が多く記載されている印象がある。これから新規にやることを後半の章に盛り込めると良い。(日高委員長)
- ・所管課ベースで脆弱性を記載しているため、同じカテゴリの問題でも分かれて記載されている。(宇都宮委員(藤田委員代理))
- ・避難施設の収容人数のキャパシティなどは十分確保できているか。(日高委員長)
今年の台風の際には市内で675名の方が避難所に避難した。なかには収容人数の上限に近い避難所もあったため、将来的には収容人数が足りなくなることも考えられるため、既存の公共施設の活用などを検討していきたい。(市)
- ・自主防災組織など住民側の脆弱性評価や病院などの関係機関の脆弱性評価も必要ではないか。(日高委員長)
住民組織については今後より連携の必要があるように感じている。先進事例等も紹介しながら、自主防災組織の強化をしていきたい。(市)
- ・賃貸住宅が多く住民の転出入も多い地域では、住民に対して防災に関する周知が難しいように感じている。(國廣委員)
転入者には住民票の手続きの際などにハザードマップなどを渡しているが、細かな対応までは出来ていない。今後は市の公式ラインなどで防災情報を広く周知していきたい。(市)
今年から不動産の契約の際には、浸水想定区域の説明など災害リスクの説明を行うようになっている。(熊谷委員)
- ・リスクシナリオについて、優先度の設定を行うのか。(大重副委員長)
後半の章の中で可能な限り優先順位を付けていきたい。ただし、ハード整備などどうしても期間が必要な事業もある。(市)

・安易な KPI の設定及びそれを根拠として目標は達成したので事業を終了するというようなことは避けてほしい。(日高委員長)

議事録署名

氏名： _____

氏名： _____